

川崎市かじがや障害者デイ・サービスセンターの指定管理者制度導入についての検証

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 社会福祉事業団(川崎市中原区小杉町3丁目245番地)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者デイサービスに関する業務 ・相談支援 ・施設の利用契約に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務 ・利用者意見の把握及び事業への反映にすること。 等

2 検証結果

項目	検証
1 最適な公共サービスの手法の選択 (1) 最適な公共サービス提供主体の選択 ① 法制度上の必要性 ② サービスの制度趣旨や社会状況 ③ サービスの質を担保する仕組みの存在	<p>1 (1) ① 公がサービス主体となることを定めている法令ではなく、公が条例、規則等で公共サービスの提供を担保した指定管理制度の活用も可能である。</p> <p>② 市が設置したデイサービスセンターとして市民からの依頼を得ており、重度重複障害のある障害者を積極的に受け入れてきた実績がある。今後も安定した運営を継続していくためには、民間への譲渡ではなく、行政が関与した指定管理者制度による運営が望ましいと考えられる。</p> <p>③ 健康福祉局心身障害者総合リハビリテーションセンター管理運営調整委員会設置要綱に基づき、指定管理者の選定及び指定管理者に行わせた管理運営業務について評価等を実施している。また、基本協定書において、市は指定管理者に管理状況の確認のため、業務内容について報告させ、条件を満たしていない場合は改善を勧告すると定めているとともに、指定管理者が条例等に違反したとき、業務を履行しない等のときは、指定の取消又は期間を定めて管理運営業務の全部又は一部の停止を命ずることができると定めている。また、指定管理者は、利用者意見や地域の要望等を把握する体制を整備するとともに、定期的に第三者評価を受審するなど支援水準の向上に努めている。</p>
(2) 効率的な運営手法の検討 ① 市民満足度の高いサービス提供 ② 施設運営の継続性、安定性、公平性の確保 ③ 効率的、効果的な運用の確保	<p>(2) ① 多様化する利用者の個別ニーズに対応し、満足度を上げるサービス提供のため、運営体制及び施設環境の整備等を行っている。また、徹底した感染予防と障害特性を考慮した健康管理を行っている。</p> <p>② 施設管理の継続性、安定性については、法人のノウハウや経営努力等によって、高いレベルで保たれている。また、公平性についても、法人の要綱等に則った苦情・相談の対応や市の健康福祉局心身障害者総合リハビリテーションセンター管理運営調整委員会設置要綱に基づいた評価等によって確保されている。</p> <p>③ 自由な発想、サービスの創意工夫により効率的、効果的な運用が行われている。活動室、浴室、トイレに介護用リフトを導入し、介護負担の軽減と効率化を図っている。</p>
2 サービス向上等 (1) 安定性 (2) 公平性 (3) 専門性 (4) 創意工夫	<p>2 (1) 重度・重複障害者の利用が多い中で、利用率が高く、安定したサービスの提供がされている。 (平成21年度実績) 契約者数 27人(男14人、女13人)、新規契約 2人、解約 0人 延べ利用者日数 5, 775日</p> <p>(2) 個々のニーズに対応した公平なサービス提供が行われている。また、毎月1回の「利用者の会」では、活動内容や各種サービスへの具体的な要望や意見の確認、聞き取りの機会を設け、解決や改善できることは迅速に取り入れている。日常の要望等についても、連絡帳や電話にて受け付け、迅速に対応しており、公平性が保たれていると考えられる。</p> <p>(3) 指定管理者が有する専門性やネットワークを活用し、従来のサービス以外にも新たな企画を実施することが可能となり、より専門性の高いサービスが提供されている。</p> <p>(4) 多様な活動プログラムを用意して障害特性にも配慮している。また、重度の障害と医療ケアが必要な利用者に対応するため、看護師2人を配置し、健康状態を把握して、疾病予防を行っている。</p>
3 コスト検証	3 指定管理者制度導入とともに障害者自立支援法が施行され、施設系サービスについて

算定方法	ては、平成18年10月から施行後、報酬単価の変更等、毎年見直しが行われた中で、順調に運営が行われており、今後も利用料金制への移行を含めたコストの検証が必要と考える。
4 施設の安全性 大規模修繕の必要性	4 平成4年に開設した施設で、築18年が経過している。今後も部分的な修繕が見込まれるため、修繕計画を立てて検討していく必要がある。
5 総括 成 果	5 重度重複障害のある障害者を積極的に受け入れており、個別のニーズにも対応した多様なサービスプログラムを提供し、利用率も高い水準となっている。また、法人ホームページへの広報やボランティアの受け入れ等、啓発活動や地域貢献にも努めている。今後も指定管理者の創意工夫によって、更なるサービスの向上が期待されるため指定管理者制度の活用による運営をしていくことが望ましいと考える。